

【富山県南砺市】
1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、多様な子どもたち一人ひとりに対して個別最適化され、かつ、子どもたち一人ひとりの資質・能力を確実に育成できるような教育 ICT 環境を実現する。

2. GIGA 第1期（～令和6年度まで）の総括

本市では、令和2年度に GIGA スクール構想に対応する学習ネットワークを整備し、一人一台端末を導入した。併せて、授業支援 web システムとして Sky 株式会社の「SKYMENU Cloud」を導入し、学習状況の見える化を図るとともに、授業では子どもたちの意見共有等のツールとして活用してきた。さらに、学習用ドリル教材であるラインズ株式会社の「e ライブラリ」も導入し、家庭学習体制も整えた。

GIGA 第1期では、端末に「Windows」を採用した。社会一般で広く採用されている OS であるため、円滑に運用を始めることができた。しかし、教員や子どもたちが端末を安全に安心して使用するための OS のアップデートをはじめ、様々なセキュリティやネットワークに接続するがゆえに、端末の起動が遅いことや、データ容量の圧迫によるアカウントや端末の不具合率が高いことが課題として挙げられた。

3. GIGA 第2期（令和7年度～）

GIGA 第1期での課題を解決するため、本市では、GIGA 第2期に利用する端末に「Chromebook」を採用した。Chrome OS の特性により、端末の起動時間が大幅に短縮され、通信速度も改善され、学校でのタブレット端末の利活用が一層進むものと期待される。

3. 1人1台端末の利活用方策

(1) 1人1台端末の積極的利活用

①教職員へのサポート

端末が Chromebook に変更されたため、令和7年度から Google による各種研修を、各校及び市教育センターで計画的に実施している。

②ICT 支援員の活用の促進

引き続き、ICT 支援員を配置する体制を整え、必要に応じて市内各校を訪問し、授業支援や ICT 環境整備のサポートを行う。

③1人1台端末の普段使いの取組

市内の小中学校で1人1台端末の日常的な利用に向けた取組を行って

いく。Chromebook に更新し、起動時の遅さやアカウント等の不具合が解消されたため、授業運営等の場面での更なる利活用を推進する。

(2) 個別最適・共同的な学びの充実

「児童生徒が自分で調べる場面」、「児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面」、「教職員と児童生徒がやりとりする場面」、「児童生徒同士がやり取りする場面」及び「児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面」の5つの場面における端末の具体的な活用方策について、課題の洗出しや活用事例の情報共有を行う。また、学校と情報連携を図り、学校教育の質の向上を図る。

(3) 学びの保障

一人一台端末の日常的な利活用を継続する。また、様々な困難を抱える児童生徒に対する端末を活用した支援として、「不登校児童生徒の授業への参加・視聴機会の提供」、「希望する児童生徒への教育相談の実施」、「外国人児童生徒に対する学習活動支援」、「障害のある児童生徒や病気療養児等、特別な支援を必要とする児童生徒の実態に応じた支援」などを検討する。